

令和3年度  
小牧市社会福祉協議会  
ボランティアセンター 事業計画書



## 基本姿勢

ボランティアセンターは小牧市唯一のボランティア専門機関です。ボランティアの皆さんにとって最善の利益が確保できるよう、会員相互の信頼関係づくり、ボランティア活動の良好な環境づくり、社会活動・福祉活動に支援や協力をします。

- |   |         |
|---|---------|
| 1. 地域のボランティア力の強化・育成・ネットワーク拡充  | 14 事業   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) ボランティアセンター運営委員会</li><li>(2) ボランティア連絡会</li><li>(3) ボランティア勉強会</li><li>(4) 地区ボランティア連絡会</li><li>(5) ボランティア活動保険の加入促進</li><li>(6) ボランティア活動助成金の交付</li><li>(7) ボランティアルームの常時開設</li><li>(8) 婦人・ジュニア・シルバー奉仕団の活動推進</li><li>(9) ココボラ活動の推進</li><li>(10) 災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練<ul style="list-style-type: none"><li>(新) 令和3年度東尾張ブロック社協 局地災害時救援活動訓練</li></ul></li><li>(11) 市総合防災訓練参加 (令和3年度 愛知県・小牧市総合防災訓練)</li><li>(12) 東日本大震災県外避難者支援</li><li>(13) 東尾張ブロックボランティア集会</li><li>(14) (新) 小牧市高齢者健康生きがい推進支援事業</li></ul> |         |
| 2. ボランティアの心を育て実践を促す活動   | 6 事業    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) ボランティア養成講座の開催</li><li>(2) 養成講座の開講支援</li><li>(3) 相談・情報提供窓口の設置、各種機材の貸し出し等</li><li>(4) 土曜窓口の開設</li><li>(5) ボランティア情報コーナー設置</li><li>(6) ボランティア登録</li></ul>   |         |
| 3. 福祉教育活動の推進  | 3 事業    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 福祉実践教室の開催</li><li>(2) 「総合的な学習の時間」への協力</li><li>(3) 中学生及び高校生福祉体験学習事業</li></ul>  |         |
| 4. 「福祉の心」「ボランティアの心」の普及・啓発活動   | 5 事業    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 福祉展の開催</li><li>(2) ボランティア活動啓発用パネルを常時展示・貸出</li><li>(3) ボランティアグループ一覧表の作成配布</li><li>(4) インターネットでのボランティア情報の提供</li><li>(5) 啓発活動支援</li></ul>  |         |
| 5. 人にやさしいまちづくりの実現   | 1 事業    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 障がい者 (児) スポーツレクリエーションのつどい</li></ul>   |         |
| 6. その他登録ボランティアに関する事業  | 計 29 事業 |

## 1. 地域のボランティア力の強化・育成・ネットワーク拡充

### (1) ボランティアセンター運営委員会(年4回)

【目的】 ボランティアセンターの事業推進、機能充実、体制整備、ボランティア活動の円滑化を図るための業務についての協議を行う。

【場所】 ふれあいセンター 会議室3

①第1回 4月14日(水)13時30分～

②第2回 9月8日(水)13時30分～

③第3回 10月6日(水)13時30分～

④第4回 令和4年3月2日(水)13時30分～

### (2) ボランティア連絡会(グループ代表者会)(年2回)

【目的】 ボランティア精神に基づいて、心豊かな住みよい地域社会の創造と会員相互の連絡と交流を図ることを目的とする。

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

①第1回 4月21日(水)13時30分～

②第2回 令和4年2月16日(水)13時30分～

### (3) ボランティア勉強会

【目的】 より多くのボランティアに「ボランティア活動の意義や必要性」についての理解を深めていただくとともに、活動を続けることのモチベーションを高め、「ボランティア活動の活性化」を目的として開催する。

【参加対象】 登録ボランティア 全員

【第24弾】「コミュニケーションが上手くいく方法(仮)」

【開催日時】 6月24日(木)13:30～

【講師】 鷺津 秀樹 氏(NPO法人日本次世代育成支援協会理事 等)

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

【参加対象】 登録ボランティア会員 代表、役員など

【内容】 未定

### (4) 地区ボランティア連絡会

【目的】 本会は、ボランティア精神に基づいて、地区に在住する会員相互の交流と、地区の福祉の増進及び啓発をはかることを目的とする。

【内容】 各地区の計画に基づき、まちかどあいさつ運動、地域の小学校との交流会、地区ボランティアのつどい、ふれあい会食会、親睦研修会などを実施

【場所】 ふれあいセンター 大会議室

①第1回地区ボランティア連絡会 6地区合同役員会 5月19日(水)13時30分～

②第2回地区ボランティア連絡会 6地区合同役員会 令和4年3月1日(火)13時30分～

③活動助成金の交付

#### (5)ボランティア活動保険の加入促進

【内 容】 加入事務手続き、天災プラン(災害)加入手続き・保険請求手続き保険加入料の補助(1人当たり300円まで)

#### (6)ボランティア活動助成金の交付

【目 的】 ボランティア活動の振興を図るために、自主的かつ継続的に行うボランティア活動をより促進し、活発化させ、活動の幅を広げることを目的とする。

【内 容】 各団体からの申請内容(金額)に対して、本会予算の範囲内において助成を行う。  
・予算を有効活用するために開発した計算式を活用する。  
・請求書様式を変更し、書類記入の手間を簡略化。

【必要事務手続き】 申請案内等事務手続き・決定通知・請求処理・入金処理  
追加助成金案内手続き

#### (7)ボランティアルームの常時開設

【内 容】 部屋の利用、備品の管理・貸出、棚の貸出、ボランティア用パソコンの設置

#### (8)婦人・ジュニア奉仕団の活動推進

婦人奉仕団

【目 的】 住みよい地域づくりを推進していくうえでその根底にあるべき「やさしさや思いやりの心」が大切である。  
この実現のため、地域内の婦人が組織的、自主的且つ永続的にボランティア活動を展開していくことで「心豊かな住みよい地域社会」を創造することを目的とする。

【場 所】 ふれあいセンター 会議室3

第1回 6月4日(金)13時30分～

第2回 9月3日(金)13時30分～

第3回 令和4年2月4日(金)13時30分～

## ジュニア奉仕団

【目的】 市民憲章を生活信条として、社会の一員としての自覚をもち、明るい地域社会づくりをめざす。

### ① ジュニア奉仕団世話人会長会

【場 所】 ふれあいセンター 会議室 3

第1回 4月7日(水) 14:00～

第2回 8月25日(水) 14:00～

### ② 世話人会・担当教諭合同会議

【日 時】 令和4年2月25日(金) 15時30分～

【場 所】 ふれあいセンター 大会議室

### ③ ジュニア奉仕団・世話人会合同役員会

【日 時】 4月17日(土) 9時30分～

【場 所】 ふれあいセンター 大会議室

【講 演】 テーマ：助け合いが心を豊かにする

講師：宗次 徳二 氏（カレーハウス CoCo 壱番屋 創業者）

※毎年開催しているジュニア奉仕団総会を中止とし、世話人会合同役員会にて講演を実施する。

※講演内容のDVDを作成し、市内9中学校（ジュニア奉仕団）への貸し出しをする。

### ④ 新 小牧警察署特殊詐欺被害防止活動への協力

【開催日時】 8月予定

【内 容】 市内在住のひとり暮らし高齢者あてに、特殊詐欺への注意喚起の内容でハガキを書く。

### ⑤ ジュニア奉仕団活動

【内 容】 街頭募金活動、清掃活動、施設訪問、愛のレター書き、児童館活動  
各種行事の手伝いなど

## (9) ココボラ活動の推進

【目的】 ボランティア活動に対する気持ちのある高校生・大学生が自発的に継続性をもってボランティア活動に参加できる土壌作り。

① 4月24日(土)参加説明会（新入生歓迎会）の開催

② ふれあいセンターを活動拠点とし、デイサービス、児童館、ココボラだよりの取材活動、市主催事業への協力等、メンバーの自主性を重視した活動を展開

## (10) 災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練

【目的】 災害時に、迅速かつ的確に災害ボランティア支援センターが開設・運営・閉鎖できる体制づくりを図るとともに、災害対応活動の情報交換及び災害ボランティア支援訓練を実施することにより、緊急時の対応に備える。

【開催日時】 令和4年1月30日(日)

【場 所】 小牧山史跡公園

※令和3年度は、当会が、東尾張社会福祉協議会連絡会の幹事となる。それに伴い、令和3年度の災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練は、東尾張ブロック社協局地災害時救援活動訓練を兼ねて開催する。

### (11) 市総合防災訓練参加

【開催日時】 令和3年8月29日(日)

【内 容】 市総合防災訓練において、災害ボランティア支援センターを設置・運営訓練および、啓発活動を行う。

\*今年度は、愛知県との共催 場所 陶グラウンド

### (12) 東日本大震災県外避難者支援

【内 容】 ふれあいひろば小牧(避難者交流会)開催協力、避難世帯の戸別訪問、個別支援対応に協力する。

○愛知県被災者支援センター、市危機管理課、県外避難者、市民活動団体、ふれあいひろば小牧実行委員会ほか、関係機関と協力し実施

### (13) 東尾張ブロックボランティア集会

【目 的】 9市2町のボランティアが一堂に会し、交流を深め、ボランティアについて深めていくことを目的とする。

【開催日時】 10月30日(土) 午前

【場 所】 清須市 清洲総合福祉センター

【主 催】 東尾張ブロックボランティア集会連絡会、東尾張ブロック9市2町社会福祉協議会

### (14) 小牧市高齢者健康生きがい推進支援事業(市委託事業)

【目 的】 高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活し続けることができる地域づくりを推進するため、きめ細やかな健康づくり・生きがいづくり支援を行うにあたり、ニーズ把握と、そのニーズに対応した支援等を調整するコーディネート機能を似ない、また、相談及び活動支援を行うことにより、支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。

【開催日時】 令和3年2月22日～(第2・4月曜日 午前10時～12時)

【場 所】 市民交流テラスワクティブこまき

【内 容】 市民交流テラスを相談窓口とし、市民活動センター・シルバー人材センター・春日井ハローワークと連携した適切な情報提供や、ニーズに沿った事業を展開していく。 ※令和2年度～令和4年度の時限事業です。

## 2. ボランティアの心を育て実践を促す活動

### (1) ボランティア養成講座の開催

・インターネット上での申し込みも実施。

#### ① 手話ボランティア養成講座(昼の部)

【目 的】 聴覚障がいによる日常生活の状況や障がい者の気持ちを理解し、聴覚障がい者のコミュニケーションの手段である手話のボランティアを養成する。

【開催日時】 5月12日(水)～7月28日(水) 9時30分～11時30分(全12回)

【場 所】 ふれあいセンター 視聴覚室

【対 象】 初めて受講し、講座修了後にボランティア活動に関心がある方

## ②手話ボランティア養成講座(夜の部)

- 【目的】聴覚障がいによる日常生活の状況や障がい者の気持ちを理解し、聴覚障がい者のコミュニケーションの手段である手話のボランティアを養成する。
- 【開催日時】未定
- 【場所】ふれあいセンター 会議室 2
- 【対象】初めて受講し、講座修了後にボランティア活動に関心がある方

## ③要約筆記ボランティア養成講座

- 【目的】聴覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者の気持ちを理解し、障がい者のコミュニケーション手段である要約筆記技術について学習する。
- 【開催日時】5月8日(土)～6月12日(土) 10時～12時(全6回)
- 【場所】ふれあいセンター 視聴覚室
- 【対象】初めて受講し、講座修了後にボランティア活動に関心がある方

## ④音訳(朗読)ボランティア養成講座

- 【目的】視覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者の気持ちを理解し、視覚障がい者に図書や広報を音訳(朗読)するボランティアを養成する。
- 【開催日時】5月12日(水)～7月21日(水) 9時30分～11時30分(全11回)
- 【場所】ふれあいセンター 会議室 3
- 【対象】初めて受講し、講座修了後にボランティア活動に関心がある方

## ⑤点訳ボランティア養成講座

- 【目的】視覚障がいによる日常生活の状況や、障がい者の気持ちを理解し、視覚障がい者に図書や広報を点字に訳する(点訳)ボランティアを養成する。
- 【開催日時】5月14日(金)～7月16日(金) 9時30分～11時30分(全10回)
- 【場所】ふれあいセンター 会議室 3
- 【対象】初めて受講し、講座修了後にボランティア活動に関心がある方

## ⑥災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 【目的】大規模な災害が発生した場合に、災害時の混乱した状況の中、多くのボランティアの受入れやそれぞれの活動場所への派遣調整を迅速かつきめ細やかに展開するための体制と、災害に備えた日ごろのネットワークづくりの重要性から、ボランティアコーディネーター養成講座を開催する。
- 【開催日時】未定
- 【対象】講座をきっかけに、ボランティア活動をはじめてみたい方

## ⑦障がい者ガイドボランティア養成講座

- 【目的】視覚障がいや肢体不自由による日常生活の不便な状況や、障がい者としての気持ちを理解し、視覚障がい者や車いす利用者の外出に必要な介助の仕方、ガイドヘルプ技術について学習する。
- 【開催日時】①11月25日(木) 9時30分～15時30分 視覚障がい者外出介助  
②11月30日(火) 9時30分～12時 車いす利用者外出介助
- 【場所】ふれあいセンター 視聴覚室 他
- 【対象】初めて受講し、講座修了後にボランティア活動に関心がある方

## (2)養成講座の開講支援

- 【目的】ボランティアグループが、ボランティアの育成・ボランティア活動への参加のきっかけづくりを目的に、自主的に行う取り組みについて協力。
- 【備考】開催の広報や必要経費の一部等を支援する。

### **(3)相談・情報提供窓口の設置、各種機材の貸し出し等**

- ①ボランティア活動に関する相談窓口（窓口、電話、メール、その他）  
グループ運営に関する相談、新規立ち上げ相談、各活動に関する情報提供等。  
対応内容を記録し、職員間での共有を図る。
- ②ボランティア情報の提供
  - 登録グループ情報、市民活動情報、活動メニュー、その他活動に関する情報等
  - 助成金情報
  - ボランティア活動についての現状、こころ構え等
- ③各種機材の貸し出し等 ボランティア活動に必要な各種資機材の貸出
- ④ボランティア派遣依頼

### **(4)土曜窓口の開設**

- 【内 容】 ボランティアセンター窓口の利便性向上を目的として実施  
年3回（6月12日、12月11日、令和4年3月12日）  
9時～16時（12時～13時は昼休憩）

### **(5)ボランティア情報コーナー設置**

- 【内 容】 登録ボランティアグループ情報ファイル、ボランティアに関連書籍、DVD、  
各種チラシ、ポスター、福島県の新聞2紙（週2回更新）、コルクボードで  
のボランティア情報の発信

### **(6)ボランティア登録**

- 【内 容】 グループ登録、個人登録、企業登録などを随時実施。  
登録団体を対象とした、様々な活動支援を行う。

## 3. 福祉教育活動の推進

### **(1)福祉実践教室の開催**

- 【目 的】 児童・生徒が障がい者や高齢者等との交流を通して、地域の福祉課題や生活課題に気づき日常的な実践活動へと広げ、「豊かな人間性」「共に生きる力」を育むことをねらいとする。  
各小中高校へ出向き、ボランティアからの協力を得ながら開催。
- 【対 象】 市内小中学校
- 【協 力 者】 高齢者疑似体験＝高齢者疑似体験ボランティアグループ  
・手話＝手話サークル「おてだま」 ・点訳＝点訳グループ「たんぽぽ」  
・要約筆記＝要約筆記こまき ・車いす・アイマスク＝ガイドヘルプ友の会  
・認知症講座＝市内地域包括支援センター
- 【備 考】 謝礼支払方法の変更により、事務手続きを簡素化

### **(2)「総合的な学習の時間」への協力**（施設見学・調べ学習等）

- 【目 的】 学校独自の福祉学習の取り組みに関する相談や講師となるボランティア派遣の調整をする。
- 【内 容】 各小中学校で、各テーマに基づき開催。ふれあいセンターの施設紹介、見学



### (3)中学生及び高校生福祉体験学習事業 (7月～8月)

- 【目的】社会福祉に対する理解と参加を促進するため、社会福祉施設等でボランティア活動の体験学習を実施することにより、青少年の健全育成と活力ある福祉社会の醸成に寄与するものとする。
- 【開催時期】7月～8月（夏休み期間中）
- 【参加対象】市内の中学生及び高校生
- 【内容】事前説明会 6月19日(土)13時30分～  
2日間のボランティア体験実習の実施  
体験文集の発行（市福祉大会での発表）

## 4. 「福祉の心」「ボランティアの心」の普及・啓発活動

### (1)福祉展の開催

- 【目的】小牧市における「福祉活動」「ボランティア活動」の実情を広く市民の皆様を紹介し、福祉についての関心と理解を深めていただくとともに、人と人のふれあいの輪を広げる機会とする。
- 【開催日時】10月17日(日)10時～16時
- 【場所】ふれあいセンター
- 【内容】ボランティア・福祉団体による展示コーナー、ボランティアグループによる体験コーナー、福祉施設によるバザー、ふれあいひろばステージ、小中学生対象の福祉体験ほか
- 【準備日程】福祉展運営委員会2回  
第1回8月4日(水)13時30分～  
第2回11月24日(水)13時30分～

### (2)ボランティア活動啓発用パネルを常時展示・貸出

- 【内容】登録グループを紹介するため、活動紹介パネルを作成・貸出

### (3)ボランティアグループ一覧表の作成・配布

- 【内容】概要版、詳細版の2種類を作成

### (4)インターネットでのボランティア情報の提供

- ①小牧市社会福祉協議会ホームページ【<http://www.k-net.or.jp/~shakyo/>】  
ボランティアセンターホームページ【<https://komakivc.jimdofree.com>】  
・登録グループ一覧、事業内容、各種様式などを掲載

- ②ブログ【<http://komakishishakyo.blog.fc2.com/>】

小牧市社協 ブログ

検索

### (5)啓発活動支援

- ①社協だより・ブログ等でのボランティア情報紹介
- ②グループ情報ファイルの設置  
【内容】全グループ分の活動情報ファイルを作成、一般向けに設置
- ③掲載協力団体の把握  
企業、マスコミ、新聞店、その他情報発信媒体を持つ団体などに対し、登録グループが自主的に情報発信できる様にするための協力体制の整備。

## 5. 人にやさしいまちづくりの実現

### 障がい者(児)スポーツレクリエーションのつどい (市委託事業)

【目的】市内に在住・在勤の障がい者(児)が一堂に会し、スポーツとレクリエーションを通じて相互の親睦を図るとともに、広く市民に対し障がい者福祉への理解と関心を深め、障がい者(児)の社会参加に寄与する機会とする。

【開催日時】11月14日(日)10時～14時40分

【場所】パークアリーナ小牧 メインアリーナ

【内容】参加者が楽しく参加できる競技・レクリエーション

【参加対象】市内在住・在勤の障がい者(児)とその家族

【準備日程】運営委員会・実行委員会を開催し、実施内容の検討

①運営委員会 2回 ②実行委員会 7回(予定)

③リハーサル 11月13日(土)13時30分～

## 6. その他登録ボランティアに関する事業

### (1)社会福祉協議会事業

①社会福祉協議会協力会費への協力

②小牧市地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する事業(地域座談会、ボランティア養成講座、災害時要援護者台帳活用など)

③福祉映画を鑑賞する会 毎月第2日曜日

④ふれあいいきいきサロン(高齢者、障がい者、子育て)

⑤小牧市社会福祉大会

⑥ひとり暮らし高齢者交流会

⑦地域包括支援センター事業(認知症サポーター講座、徘徊模擬捜索訓練、地域支えあい会議他)

⑧ふれあいデイサービス、岩崎デイサービス外出企画等

⑨デイサービスひかり ふれあいまつり

⑩市長を囲む福祉関係者懇談会

⑪市民活動祭(9月18日)

### (2)共同募金事業

①募金活動(赤い羽根共同募金、歳末助け合い運動) 他

### (3)善意銀行事業

①愛善連ボランティア交流会のつどい

②善意のつどい(3月頃)

③特別支援学級生合同クリスマス会 他

### (4)各種表彰

①ボランティア活動功労者表彰

②愛知県社会福祉協議会会長表彰、感謝状

③社会福祉協議会会長表彰、感謝状

### 【令和3年度事業について】

新型コロナウイルス感染拡大により、感染リスクが懸念される状況になった場合は、事業等の変更・中止の措置を取らせていただくことがあります。予めご了承ください。